稗田野小学校

人権だより No,7

2026.11.16（月）

「ありがとう」の気持ちを伝え合おう！

～人権月間が始まります～

11月13日（金）から12月10日（木）まで、人権月間に取り組みます。

人権月間では、友だちや周りの人との関わりを見つめ直し、一人ひとりが大切にされることについて考えていきます。今年度は、「感謝の気持ちを表現し、他者を思いやる心を育むこと」「人権課題を自分のこととして考え、行動する力を育てること」をねらいとして、さまざまな取組を進めていきます。

毎日の学校生活の中には、友だちの頑張っている姿や優しい声かけ、困っているときに助けてくれたことなど、すてきな場面がたくさんあります。しかし、そうした友だちのよさに気づいていても、なかなか言葉にして伝える機会は少ないかもしれません。

そこで、今回の人権月間では、「ありがとうBOX」に取り組みます。友だちのよいところや頑張っているところ、すてきだなと思うところを見つけ、葉の形をした紙に書いて伝えます。書いた葉は相手に直接届け、受け取った人は返事を書いて職員室前のポストに入れます。また、書かれた言葉は給食時間の放送で紹介したり、職員室前の掲示板に掲示する予定です。

「いつも元気にあいさつをしていてすてきだね。」「困っているときに声をかけてくれてうれしかったよ。」など、相手のよさを見つけて言葉にすることは、その人の頑張りや存在を認め、大切にすることにつながります。そして、自分のよさを認めてもらうことは、自分自身を大切に思う気持ちにもつながっていきます。

人権を大切にすることは、特別なことをするだけではありません。相手のよさに気づくこと、感謝の気持ちを伝えること、相手の気持ちを考えて行動すること。そんな日々の小さな積み重ねが、誰もが安心して過ごせる学校づくりにつながります。

人権月間を通して、子どもたちが自分や友だちのよさを見つけ、互いを認め合いながら、温かいつながりを広げていってくれることを願っています。

ご家庭でも、ぜひお子さんと一緒に、身近な人への「ありがとう」や、周りの人のすてきなところについて話してみてください。